

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

～ この想い ^{あす} 未来へとつながれ 十七字 ～

【主催】
福島県教育委員会

絆部門 最優秀賞

はちまきの 軽トラじいちゃん かっこいい(曾孫)
ひ孫から 野菜つまいと 褒め言葉(曾祖父)

糸電話 昔遊びで 盛り上がる子

コロナ禍で 家族の絆 つなぐ糸(母)

夏休み 水やりゴミすて おれ就任(子)

母退任 息子に任命 頼もしい(母)

背だけ伸び 背のびし娘の 髪を結う(母)

ゆいやすく 母に合せて 曲げるひざ(子)

ありがとう 支えてくれた 反抗期(子)

大丈夫 いつでもぶつかれ 親たもの(母)

絆部門 優秀賞

父さんの おなかが私の まくらです(子)

幸せは 寝ている隣の 子の寝顔(父)

画面越し 元気な姿に ほっとする(孫)

会えぬ夏 寂しさ埋める オンライン(祖母)

単身の 父の料理の 腕あがる(子)

写メ送り 娘に手料理 自慢する(父)

窓越しに 手をふる祖父母 笑い返し(孫)

マスクして 心の会話 孫とする(祖母)

かわいいね わたしがむすんだ ママのかみ(子)

おさががみ 何年ぶりかな ありがとう(母)

復興部門 最優秀賞

夜ノ森の 桜並木に 集う人(子)

希望満ち 桜トンネル くぐる春(母)

ぼくの石 小みねじょうで ねむってる(子)

見るたびに 元気をもらう 小峰城(母)

かにみつけ おやこのわらい ひびくうみ(子)

波しぶき あふれる笑顔 戻りつつ(母)

十年後 笑顔で食べる 桃りんご(子)

安心と おいしさ伝え 子と食べる(母)

わあきれい はじめてのうみ またきたい(子)

この記憶 永遠にやさしい ままであれ(父)

復興部門 優秀賞

ゆめ見ばし 歩いて高く ゆめつつく(子)

相馬まで 続くよ架け橋 夢見橋(母)

十さいの 夏に初めて はかまいり(子)

思い出を 初めて娘に 見せる夏(父)

ゆずの香で 今は無き家 よみがえる(子)

形なき 記憶のアルバム 我にあり(母)

僕の故郷 いわきとつながる 常磐線(子)

復興へ 新たな一歩 常磐線(父)

ふくしまに 希望の種を まきつけ(生徒)

頑張れば みんなの夢が 花開く(生徒)

ふくしま応援部門 最優秀賞

こうべから ふくしまにむけ がんばれ(児童)

にぎやかに がんばりましょう ぼくたち(児童)

いつの日も 魅力あふれる 友の郷(母)

福島の 食べてなつく うまいも(子)

五色沼 宝石みたいに かがやくよ(子)

四季映える 色彩豊かな 五色沼(母)

食卓に 気付けばいつも ふくしま産(子)

手塩かけ 育てただろう ふくしま産(父)

優しさが 野菜の甘さ 引き立てる(生徒)

名産と 笑顔あふれる 福島県(生徒)

ふくしま応援部門 優秀賞

あかつきの ふくらまるみ つるつるだ(子)

あかつきの あまいかおりに さそわれて(父)

ももになし くだものふく いただきます(子)

雪うさぎ 今度の春は 会いたいな(母)

桃食べて 福島の友 思い出す(子)

スーパ一の 野菜手に取る 福島産(母)

会津塗 つやつやひかり きれいだ(子)

子供へと 伝えてほしい 温もりを(母)

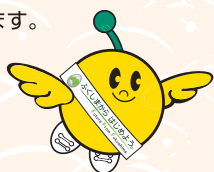
あの梨は 福島だけしか 味わえない(生徒)

名物の おいしさ届け 全国へ(生徒)

十七字がもたらす想い・時間 ～御感想より～

- ◆毎年夏休みの終わりにこの事業の作品を子どもと一緒に考えます。今年は何があったかなあと振り返る時間がいつも楽しいです。
- ◆普段言えないことを十七字の形で伝えられて素敵なことだと思います。
- ◆普段仕事で忙しくなかなかゆっくり関われないので、一緒に作品づくりを楽しんでいます。

- ◆十七字に想いをのせるために、親子の会話も増えます。
- ◆学校で福島の小学生と交流したことをがります。福島産の桃を食べた時に交流した友達のことを思い出しました。



絆部門 佳作

ぬい糸で 母のまねする 玉結び(子)
ぼたん付け 母の裁縫 思い出す(母)

病室に とどいた手紙 温かい(子)
会えずとも 文字がつなぐよ 親子の輪(母)

コロナ禍で 父に会えるの 画面越し(子)
単身の 疲れを癒す 子の笑顔(父)

ゆかた着て 今年はお家で 夏まつり(子)
いらっしゃい!! 今年は初の 家まつり(母)

「大じょう夫?」こまごましてると 母がくる(子)
「手伝っや」今は私が 助けられ(母)

夏休み 妹たちに 本を読む(子)
幼な顔 時おり見せる 姉の顔(母)

いつだって 辛い顔なし 母女優?(子)
演技なし 我が子の笑顔 親の幸(母)

花火見て 笑顔の祖母と 語り合う(孫)
濡れ縁に 集う孫らと 夕涼み(祖母)

もみほぐす 岩のごとくな 祖母の肩(孫)
誕生日 孫の手のひら わが肩に(祖母)

パパのむね ねらいをさだめ ほくなげる(子)
汗だくの 君の笑顔が ストライク(父)

復興部門 佳作

福島の あの笑顔を取り戻そう(子)
しい様が 負けでらんにと 苗を植え(父)

橋や道 いろんな施設 できていく(子)
ああ確か ここは駄菓子屋 あった場所(母)

朝早く みんなで浜辺 コミ拾い(子)
セミが鳴き もう三度目の 海開き(父)

浜通り 新たな産業 期待して(母)
未来への ふくしまつなぐ ロボット(子)

海開き 尾浜に皆の 笑い声(孫)
また見れた 輝く海と 孫の笑み(祖父)

風にのる 電車の音は 復興音(生徒)
この音は 明日につながる 希望の音(生徒)

時が経ち 復興導く 桜道(子)
娘の名 由来の並木 永遠に咲く(母)

ふるさとの 潮のにおいが 戻りつつ(母)
朝日には 船と魚が ひかりだす(子)

復興へ はまなかあいつ 手をつなぐ(姉)
一歩ずつ 前へと進め つつししま(妹)

話聞き きょうかんした日 忘れない(子)
母として 生きて貰く 覚悟の日(母)

ふくしま応援部門 佳作

きんへこを はじめてかって もらった(子)
やさしさを 未来へつなぐ べこ(僕)(母)

ふくしまの すてきなせん みてみたい(子)
いつ見ても よりどりみどり 旬の味(母)

ふくしまに いってみたいな またこんど(子)
震災を 知らぬ娘と 追体験(母)

えがおでね 力あわせて ふっつた(子)
震災に 絆深まる 「福」の島(父)

もっとほしい 福島の桃 おいしいな(母)
来年も 福島の桃 食べたいな(子)

待ち遠しい 冷たい桃が 食べたいな(子)
桃色の 甘い香りに 笑顔咲く(母)

桃食べて おいしい笑顔 おすそわけ(子)
夏野菜 見る度想う 猪苗代(母)

海や空 心もつなぐ 福島へ(祖父)
のりこえて 大きくなるう けんご(孫)

ふくしまを 輝かせよう これからも(生徒)
ふるさとを みんなでつくろう もう一度(生徒)

赤へこに 輝く未来の 期待寄せ(生徒)
赤へこに 夢をまたがせ 復興へ(生徒)

協賛企業・団体(五十音順)

会津中央乳業株式会社、秋山ユアピス株式会社、株式会社岩瀬書店、株式会社作山工務所、株式会社ダイユーエイト、株式会社テレビユー福島、株式会社ナカジマエレクトック、株式会社福島銀行、株式会社福島中央テレビ、株式会社フレア、株式会社山上工業、株式会社ラジオ福島、株式会社リオン・ドールコーポレーション、公益財団法人日本漢字能力検定協会、公益社団法人福島青年会議所、伊達物産株式会社、東信建設工業株式会社、林サッシ工業株式会社、福島トヨタ自動車株式会社、ふくしま未来農業協同組合、福島民報社、福島民友新聞社、北都オーディオ株式会社、やまみこどもクリニック、有限会社吾妻印刷、有限会社渋川問屋、有限会社福島メンテナンス、酪王乳業株式会社

福島県教育庁社会教育課

〒960-8688 福島市杉妻町2番16号

TEL 024-521-7799

URL ▶ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70016a/>



お問い合わせ先